

close-up campus  
クローズアップ・キャンパス  
研究者活動・成果

新刊書籍  
「学徒のためのIT活用経営分析～パソコン画面で理解できるやさしい教科書～」  
富士大学名誉教授 前田邦夫  
富士大学博士(経営学)益満 環  
出版社【学術出版】青山社  
ISBN 4-88359-094-1  
定価2,500円



著書の内容  
高度情報技術をやさしく解説しつつ経営分析に活用している実用書である。不良債権問題を契機として土地担保評価方式に代わる新規分析方法「割引キャッシュフロー方式」が金融庁ほかで検討されているが、本書はその手法も包含して現代的分析手法を網羅している。従来型の教科書は過去現在のデータ分析のみに重点を置いているが、本書はキャッシュフロー・プロジェクトに傾向分析という予測関数手法を導入して定量的将来性分析を新たに開発している。加えて企業論理上の問題点として見直されている「企業統治」問題も分析内容に加え、最後に意思決定支援システムの「階層分析法」による重要度判断で企業経営の総合分析を締めくくる。15講に分け、セメスター制大学授業に合わせて記述されているため、講義担当教員にも受講する学生諸君にも、きわめて使い易い最新説の教科書であるが、実務担当者にも有益な参考書となっている。

国際交流センター  
の新設

13名の留学生が入学して1年が過ぎ、今年度は、昨年の韓国・中国内モンゴルに加え長春から30名の留学生が入学した。同じアジアの仲間とはいえ、言葉の違いはともかくとして、国民性・民族性の違いからの意識・考え方・感覚等は、異文化だけでは無い様々な教訓を提示されることとなった。これらの課題を解決すべく、今年度より新設された国際交流センターについてアウトラインを紹介し、ご理解ご協力をお願いしたいものである。

**国際交流センターの運営基本方針**  
(1)留学生選考  
現地における日本語による筆記試験・日本語による面接試験による選考。  
当面は主に中国・韓国の留学生を中心の募集とし、将来的に中国・韓国との複数の提携校確保のため努力する。

(2)受け入れ後の留学生の生活  
最低2年間は、専用学生寮で生活する。  
アルバイトに関しては、国際交流センター及び学生課が共同して開拓紹介をし指導する。  
留学生にかかわる各種手続きや書類作成については国際交流センターの任務とする。  
学費・寮費等の諸経費及び留学生の日常的な生活にかかわる諸規則やルールに関しては、別途取り決め遵守させるよう指導する。  
(3)留学生の学習活動  
日本語による一律の講義を受けるが、日本語や日本文化等、教育課程の検討をする。  
(4)地域及び他団体との国際交流事業  
花巻市の国際交流センター、県の留学生、不来方・花巻南高校等との交流をはかる。  
(5)留学生へのカウンセリング事業  
留学生には日常的な声かけ、観察、注意を心がけ主に国際交流センターが相談にあたる。

トップリーダー  
研修会

平成15年2月21日(金)～22日(土)の2日間、ウェルサンピア金ヶ崎において、学友会、学生部が出席し「トップリーダー研修会」が実施された。

1日目、午前10時から学友会、学生部が2つに分かれ約2時間の事前研修を行った。  
午後は予定どおり1時30分から合同研修会が行われた。研修会内容は、「予算について」「大学行事について」を中心に進化した。ここでは、課外活動(同好会)・紫陵祭についての予算と課外活動への新予算配分方法について学友会から提案があり説明された。

2日目、午前9時からの合同研修会では「大学アンケートについて」等の議題で話し合われた。ここでは、学生達が学内施設を利用している中での諸問題について活発に討議された。

この2日間の研修会では、学友会学生部共に「学生が有意義な学生生活を送れるように」と真剣になって考えている熱い思いが感じられた。  
この結果については、一題たりとも見落としすることなく、時間をかけて検討して、実現できるもの、出来ないものに関わらず、これらの貴重な意見に対しては確実に学生に回答することが、学生と学友会・学生と教職員の信頼関係を築くものであることを確認して、有意義な研修会は終了した。



大学入試センター試験 開催

昨年に引き続き本学会会場に大学入試センター試験が実施されました。これまでの会場は、盛岡地区に集中していましたが、本学会会場となったことで、花巻・北上地区の高校生から「近くて安心して受験ができる」と好評でした。また、本学会会場では、控え室を用意していることから「空時間があっても集中力を切らさず待つ事ができて良かったようです。」など、高校の先生方からも感謝の声がありました。  
今年は、沿岸地区の北里大産学部も会場校に加わり、岩手大の3449名の受験数に次いで、2番目に多い1641名が本学会会場で受験しました。



FUJI UNIV. TOPICS

日商ビジネス  
コンピューティング2級合格

昨年9月8日に実施された、日本商工会主催の「ビジネスコンピューティング2級」に合格した、経営法学科3年の石井美佳さん(大館商業高校出身)を紹介しします。「資格を取るのが好き」という美佳さんは、高校からパソコンを学習してきたが、ビジネスコンピューティング2級は問題もかなり難しく、大学に入って、しかも昨年は「夏休みを返上して頑張ったそうです。」  
資格を取ること、自分に「自信がつかます。」「就職するにも有利」とますます意欲を燃やしていました。

女子学生のための  
就職セミナー

私、輝く。私が勝つ。全日空(ANA)のインストラクターを迎えて、女子学生のための就職準備セミナーが開催された(1月22日、エクステンション・センター主催)。女子学生にとり、とくに女性としての美しい立ち振る舞い、正しい言葉遣い、第一印象づくり、メイクアップなどの事柄は大切であるとの観点から企画されたものである。女子学生(35名)、教職員も多数参加し盛況であった。  
今回の講師、北井優子氏はこれまでの実務経験から実技等も交えながら、接遇の意味に重点を置いて話しをされた。接遇はまず「心」でもてなすことが基本であり、その上での他の人に接するときは、笑顔、美しさ、迅速性、誠実さ、自己啓発、プロ意識等の諸点が重要であるとの説明があった。学生から「時間を忘れるくらいになる話であった。」「普段から実践していく大切さを知った。」「このようなセミナーを是非継続してもらいたい」等の感想が寄せられた。  
(文責 松岡)



サッカー競技  
アドバイザーコーチ  
招聘事業

平成15年3月3日(月)～5日(水)、7日(金)～9日(日)の日程で平成15年度国民体育大会へ向けに競技力の向上を図る目的で本学スポーツセンターとサッカー場で県内の高校生を対象に講習会が行われた。

講師は、Jリーグ鹿島アントラーズGKコーチの藤原寿徳氏と、日本サッカー協会技術委員で、現U-17日本代表監督の鈴木淳氏により、トップレベルの指導を受けた。  
受講生は、「普段なかなか冬場にサッカーボールをける環境がないので、いいトレーニングになったし、教え方も非常に分かりやすかった。」など、好評であった。



アマチュア野球  
指導者講習会

平成15年2月2日(日)本学スポーツセンターにおいて「第4回全国アマチュア野球指導者講習会」(主催:日本プロ野球O.B.クラブ)が開催された。全国8ヶ所で開催され、東北では唯一の開催地であった。

当日は、小学生から社会人までの指導者120名が参加し、県内はもとより遠くは千葉県からの参加者もあった。  
開催のあいさつの後、小学生・中学生の指導者と高校から社会人までの指導者と2班に分かれてレベルに合わせた講習会が始まった。  
講師もそうそうたるメンバーで投手担当は、NHKのメジャーリーグ解説の高橋直樹氏(元巨人)、打撃担当はシドニーオリンピックの打撃コーチ長崎慶一氏(元阪神)、捕手担当は、日本ハム二軍監督の種茂雅之氏の各面々であった。  
本学の硬式野球部員と準硬式野球部員もアシスタントとして参加し、各講師のもとデモンストレーションを行い、有意義な講習会となった。



平成14年度 主な就職先

- |   |   |   |
|---|---|---|
| アシックス<br>カワチ薬品<br>トヨタビスタ青森<br>ネットヨタ仙台<br>ファルケン東北<br>ホシザキ東北<br>ミサワホーム北日本<br>あおもり信用金庫<br>トセキ東北<br>伊藤園<br>コジマ<br>岩手トヨベツ<br>岩手スバル自動車<br>(株)小田島<br>東濃信用金庫<br>ココスジャパン | 元気寿司<br>恒和薬品<br>佐野信用金庫<br>白金運輸<br>住友金属工業<br>大和冷機工業<br>東北ケーズデンキ<br>ドラッグマト<br>富士薬品<br>ジョイス<br>宮城ホンダ販売<br>角弘<br>ブリヂストンタイヤ岩手販売(株)<br>秋田厚生農協協同組合連合会<br>盛岡信用金庫<br>山形新聞社<br>IBCソフト | 陸上自衛隊<br>航空自衛隊<br>岩手県警察<br>松島町役場<br>猪苗代町役場<br>社鹿町役場<br>田島町役場<br>慈恵会病院<br>特別養護老人ホームあすかの里<br>登米広域介護センター<br>みどりの農業協会組合<br>古川農業協同組合 |
|---|---|---|

学長表彰 平成14年度「学長表彰者」を紹介します。

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 【学術成績優秀表彰】<br>慶野貴大さん<br>笹測浩之さん<br>高崎清雅さん<br>伊藤幸喜さん<br>東海林史恵さん<br>辻 玲子さん | 【学術論文優秀表彰】<br>鹿野貴大さん<br>論題「營造物責任瑕疵判断<br>基準拡大のパラドックス」<br>瑕疵の過失化による無<br>過失責任主義の動揺 | 【課外活動優秀表彰】<br>川村彩子さん(卓球部)<br>竹内健治さん(卓球部)<br>工藤耕也さん(卓球部) |
|---|---|---|



今回の「OBがんばってます。」は、「母校を愛する卒業生は美しい。また社会で活躍する卒業生は大学の喜びである。自らの場で「富士」の如くに美しく、また雄々しく生きる卒業生を紹介したい。」と経営法学科助教授の鈴木 健先生から紹介があった、平成7年度卒業の高橋芳友さんをご紹介します。

私が大学を卒業し、社会へ出て仕事を始めて今年で8年目となります。私が勤務している会社は、(株)カワクトラベルという岩手県盛岡市にある旅行会社です。  
社会へ出て不安よりも憧れ的なイメージで入社した記憶があります。しかし、実際は予備知識も無く入社した為、大学時代よりも一層努力をし、さまざまな事を吸収しました。  
現在は、営業、国内・海外の添乗、企画などをしております。仕事柄たくさんの方々と一緒に、話をする機会が多いですが、その一つ一つが自分自身を高めていく貴重な体験となっております。

社会に出ても常に努力し続けるという気持ちは在学中に多くの先輩、先生方から学んだからこそだと思っております。この気持ちは何年たっても変わらさず持ちつづけていきたいと思っております。

OB  
から一言

社会に出ても常に努力し続けるという気持ちは在学中に多くの先輩、先生方から学んだからこそだと思っております。この気持ちは何年たっても変わらさず持ちつづけていきたいと思っております。

広報 富士大学

連絡先は広報室まで 原久雄(広報室長) 井手俊一(広報室課長) 小田桐恵仁・高橋直樹・千葉夕里 E-mail kouhou@fujii-u.ac.jp

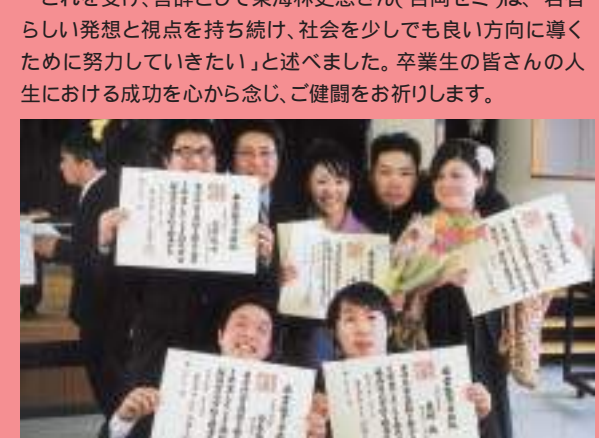
FUJI UNIV. INFORMATION CONTENTS.....  
Vol.9 2003.4.5 発行  
富士大学

大学院/経済・経営システム研究科  
経済学部/経済学科・経営法学科・経営情報学科  
〒025-8501 岩手県花巻市下根子450-3 TEL0198-23-6221 FAX0198-23-5818 http://www.fuji-u.ac.jp/



卒業証書・学位記授与式 卒業生にエールを送る

平成14年度第35回卒業証書・学位記授与式が3月19日(水)に本学記念体育館にて行われ、302名の卒業生がキャンパスに別れを告げました。  
式典には、多数の来賓、卒業生、保護者を合わせ約700名が参列され、卒業生総代の慶野貴大さん(斉藤千)ゼミ)に前田邦夫学長補佐より卒業証書・学位記が授与されました。  
前田邦夫学長補佐は、卒業生に対し、「自らを磨き上げ、よき常識を身につけた社会の一員となり人々に信頼され、たよられ社会に役立つ人物になって頂きたい」と、はなむけの言葉を贈りました。  
これを受け、答辞として東海林史恵さん(吉岡ゼミ)は、「若者らしい発想と視点を持ち続け、社会を少しでも良い方向に導くために努力していきたい」と述べました。卒業生の皆さんの人生における成功を心から念じ、ご健闘をお祈りします。



時に方向を見失い、悔める時が来るかも知れない。こんな善ではなかった、何でこんなくだらない苦勞をしなければならぬのか、もっと良い道があったのではないかと。そんな時には、一息入れて確かめてごらん。暇を見つけて大学に来て、先生方を訪ねてみるのさ。良いことばかりではなかったが、あの日あの時の自分がまるごと、花巻の風と光と匂いのなかに、甦ってくるだろう。そう。その時には、足取りの確かさに、迷うことなく次の一歩を進めるのだ。背筋をのばして運よく、凛々しく精悍な面立ちの君に再会できるその日を楽しみに待っている。

卒業証書・学位記授与式  
卒業生にエールを送る  
富士大学理事長に青木繁氏が就任  
大学院について  
新設 経営情報学科  
富士大スポーツ/ Spring Camp  
スポーツセンター利用状況  
キャンパスニュース/ スキー実習  
学事予定表  
クローズアップ・キャンパス  
トップリーダー研修会  
富士大トビックス  
大学入試センター試験開催  
サッカー競技アドバイザーコーチ招聘事業  
アマチュア野球指導者講習会 お悔み  
平成14年度主な就職先  
学長表彰 OBから一言



# 学校法人富士大学理事長に青木繁氏が就任



前理事長青木伸氏の退任に伴い、平成15年1月8日学校法人富士大学の第5代理事長に就任した青木繁氏に話を聞いた。

理事長ご就任おめでとうございます。理事長就任のご感想をお聞かせください。

この少子化の厳しい時代に理事長に就任することになりまして、その責任の重さをひしひしと感じています。微力ではありますが、全力を尽くして大学経営にあたる所存です。

の卒業生がいます。この伝統を守り、人格形成まで含めた質の高い教育サービスを提供するとともに、時代に即した社会ニーズに応え得る人材を育成していきたいと考えています。

そのために、学校法人としては、施設・設備を充実するとともに、施設・クラブ活動指導者による肌理細かな教育指導、事務職員による質の高い事務サービスの提供を図ってきたいと考えています。

最後に、本紙の読者に一言お願いします。富士大学には、建学の精神とそれに基づく教育理念・教育目標があり、その下で育てて社会で活躍する多く

の卒業生がいます。この伝統を守り、人格形成まで含めた質の高い教育サービスを提供するとともに、時代に即した社会ニーズに応え得る人材を育成していきたいと考えています。

そのために、学校法人としては、施設・設備を充実するとともに、施設・クラブ活動指導者による肌理細かな教育指導、事務職員による質の高い事務サービスの提供を図ってきたいと考えています。

最後に、本紙の読者に一言お願いします。富士大学には、建学の精神とそれに基づく教育理念・教育目標があり、その下で育てて社会で活躍する多く

の卒業生がいます。この伝統を守り、人格形成まで含めた質の高い教育サービスを提供するとともに、時代に即した社会ニーズに応え得る人材を育成していきたいと考えています。

## 大学院(経済・経営システム研究科 経済・経営学専攻)(修士課程)について

### 趣旨

富士大学はこれまで全学的に、少人数教育の実施、全学年ゼミ制度の採用、教養教育の重視等を他大学に先駆けて実践してきました。その一方で、本学は岩手県下において唯一の経済学・経営学・会計学・法学分野の専門大学として発展してきました。そしてIT化、国際化・多様化する社会のなかで、さらに幅広い質的な発展・強化をめざして、昨年6月、文部科学省に大学院(経済・経営システム研究科 経済・経営学専攻)(修士課程)の設置を申請し、12月19日に認可を受けました。

この大学院は研究者の養成にとどまらず、昨今の著しい情報技術の革新に対応した高度に専門的な職業人の養成や社会人再学習という社会的かつ地域的要請に応えようとする大学院です。

### 研究内容

本大学院は、伝統的な「経済学」および「経営学」に関する高度かつ専門的な教育・研究を進めます。その一方で、民法、商法、租税法といった実務には欠かせない民法商法関連の「法学」、「経営学」と関連しながらも企業活動の情報開示に重要な役割を果たしている「会計学」、高度情報社会には欠かせない、かつまた経済学・経営学の研究の高度化に必須手段となっている「情報学」を中心にした教

### カリキュラム

本大学院(経済・経営システム研究科)の専攻課程は「経済・経営学専攻」で、学位として「修士(経済学)」または「修士(経営学)」の2種類を授与するものです。いずれの学位を授与するかは、大学院生が履修・修得した科目・単位によって決定されます。

いずれの学位にあっても、開設科目のなかから、演習 および演習 の2科目8単位を必修科目として履修します。「修士(経済学)」の授与には、「経済学」の中から3科目12単位以上、さらに「情報学」の中から1科目4単位以上の合計4科目16単位以上を選択必修科目として履修し、さらに選択必修科目として履修した科目以外に、開設科目のなかから2科目8単位以上、合計8科目32単位以上を履修しこれらの単位を修得した上で、修士論文の審査を含む最終試験に合格することが必要となります。「修士(経営学)」の授与については、「経済学」の代わりに「経営学」または「会計学」と読み替えて、単位を履修することによって、同様な履修の形にな

## 新設 経営情報学科

高度情報化社会へと進んでいる世界で、経営者・経営管理者として、パーソナルコンピュータを用いた顧客情報、販売量、受発注管理、在庫管理等のデータ分析に基づく経営戦略、インターネットを利用した通信販売、販路拡大等情報技術の活用が必須となってきています。

カリキュラムは、外国語、教養教育科目、体育および専門基礎・基幹・展開科目から成り、専門科目には、経営・情報関連の他、経済学部の卒業生として必須な経済・会計・法学の科目が含まれています。本学科の学生には、主として経営学を学びかつ

### スタッフ

本大学院は数多くの一橋大学[現役教授・名誉教授・出身]の先生方をお招きして、大学院が設置されています。専任の先生方としては、経済学説史を担当される美濃口武雄先生[一橋大学大学院名誉教授・経済学研究科]、金融論・国際金融論は斉藤国雄先生[一橋大学大学院・商学研究科・兼任講師]、統計学について早川毅先生[一橋大学大学院・経済学研究科教授]、会計学は佐藤宗彌先生[横浜市立大学・商学部教授]が担当されます。また兼任講師として、財政学の和田八東先生[関東学院大学大学院・経済学研究科教授]、経営学の村田和彦先生[一橋大学大学院・商学研究科教授]、会計学の新田忠哲先生[一橋大学大学院・商学研究科教授]、会計学の橋本尚先生[駿河台大学・経済学部教授]、会計学の佐々木隆志先生[一橋大学大学院・商学研究科助教授]、商法の加藤良三先生[関東学院大学大学院・法学研究科教授]、租税法の岸田真夫先生[拓殖大学・商学部教授]等々の先生が講義を担当されます。そして、いずれの単位を修得した上で、研究論文に関しては、現在の日本を代表する第一人者の方々ばかりです。

門演習 では、少人数クラスの教育が行われ、担当教員は各学生の生活上や勉強上の諸々の相談にも応じます。卒業論文の課題選定やその解明に当たって、常時、参考書、新聞およびインターネットを利用した関連情報を取得したり、授業等で得られた知識の活用のため、積極的に教員に働きかけ、充実した研究結果を得られるよう期待しています。なお、本学科には、高等学校の科目「情報」の教員免許過程が認可されており、関連する情報科目と教職科目を取得することにより「情報」教員免許状が得られます。

# FUJII UNIV. SPORTS CLUB

Spring Camp ~各クラブ全国各地で展開~

## 卓球部 韓国遠征

平成15年3月5日(水)~10日(月)の6日間に渡り、韓国最高峰チームと強化合宿を行った。

男子は韓国の大学No.1の京畿大学と、韓国の高校No.1の富川高校。女子も韓国のNo.1でアジアチャンピオンを有する実業団チームHYUNDAI(現代)と、実力のある丹陽チームを相手に交流を深めた。本学卓球部の単独チームとして海外遠征は初の試みではあるが、京畿大学卓球部監督の林龍洙(韓国卓球協会専務理事)さんに、単独チームとしては考えられないほどの歓迎をいただいた。

京畿大学は韓国大統領杯など、韓国全国大会の団体、個人戦で優勝、準優勝している実力のあるチームであり、昨年行われた、ユニバーシアード(世界大学選手権大会)に韓国代表として選手を派遣し、3位に入るなど活躍を見せている。

この海外遠征を成功させた、卓球部の今後の活躍に期待したい。



男子主将 角田 学(3年) 3月5日から10日までの6日間、韓国で合宿しました。海外で合宿をするということは初めてで、いろいろな経験ができるいいチャンスでした。韓国に着き、体育館に着いたらびっくりました。待っていたのは、京畿大学という韓国でNo.1の大学でした。世界トップレベルの韓国No.1の大学と練習できる機会などめったにないことなのですごい経験になりました。練習や試合をして凄と思ったのは、動きの早さとボールのスピード、サーブのうまさでした。この3つは日本に帰ってから練習するにあたってレベルアップしたいと思います。この経験を生かしてこれからの試合でいい結果を残せるようにがんばりたいと思います。このような素晴らしい合宿を行うことができたのも、皆様のお力添えがあってこそのものだと思っています。本当にありがとうございました。

## ホッケー部

3月8日~12日の5日間、福島県棚倉町にて、新入生21名を加えた計34名のメンバーで強化合宿を行った。

メンバーがそろい本格始動となる今年度、4月からの各種大会に向け、地元チームとの練習試合を中心に充実した合宿となった。

## 女子ソフトボール部

今年の春季強化合宿は、昨年の岩手県チャンピオンから東北学生、さらには全日本大会での活躍を目指して、3月14日から31日までの日程で実施した。昨年のチームは、全員が1年生だったが、今年は、新入部員7名を加えて、兵庫県で行われた「阪神学生女子ソフトボールオープン大会」をはじめ、滋徳大や日本体育大など10大学とのオープン戦を行ない充実した合宿となった。

## 女子柔道部 フランス遠征

3月7日(金)~17日(月)まで、本学女子柔道部4名と監督1名の計5名は、フランスの北部地方のフキエール市を中心に遠征を行った。この遠征はフキエール市が主催しているフキエール国際親善柔道大会に招待されたもので、社会人女子選手(国体館OG)と共に「日本女子チーム」を形成して試合出場した他、大会の翌日から5日間、北部地方の各柔道協会と連日に渡り親善試合と合同稽古を実施し、地元の少年団の子供達の柔道指導を行ったりした。

フランスは日本の柔道人口の3倍近い160万人の柔道人口と言われており、その実態を知りたいと思っていたが、まさに柔道の普及は素晴らしいもので、やっと歩き始めた子供から大人まで、熱心に汗を流していた。柔道に対する人気も高く練習場でも試合場でも観客は常にあふれていた。どこの会場に行っても日本選手の人気は高く、本学女子選手もサイン攻めに閉口していた。大会では、女子団体試合で3位入賞を果し、トロフィーとメダルの他賞金(320ユーロ)を頂いたのには驚いた。

今回の遠征の大きなポイントは、ホームステイをしてフランスの各家庭にそれぞれ入り、家族の一員となって一週間を過ごしたと言うことである。全く言葉の通じないところでの生活は大変な苦労もあったが、そこから得たものは計り知れないものがあつたと思う。

フキエール市長の歓迎レセプションで始まり、最後は市長を初めとする市民の手作りの熱烈な送別パーティーで遠征が終了となったが市民の温かい心が今でも忘れられない。ランス駅での家族の別れが涙、涙の別れとなった。

女子柔道部参加者を紹介します。 釘持栄美子 3年生 78kg超級 主将 有賀由希 3年生 57kg級 佐藤瑞穂 2年生 48kg級 釘持まりこ 新入生 78kg級



## 準硬式野球部

3月5日より岩手・陸前高田市、茨城・境町にてキャンプを行い、続いて3月13日からは関東にてオープン戦5試合を行った。ここ数年、東北地区にて準優勝に甘んじているだけに、今回は優勝を勝ち取りたい。春季リーグ戦は4月22日開幕する。



## サッカー部

2月24日~3月9日、沖縄県渡嘉敷島にてサッカー部全員参加の強化合宿を行い、3月10日~3月15日の間は、沖縄県糸満市と静岡県との二つに分かれ、それぞれ各地で練習に励んだ。静岡県での合宿には、新入生20名も交え、新たなメンバーがいる中、厳しい練習が行われた。3月15日~3月22日、茨城県つくば市において全国大学フェスティバルに参加。3月25日~28日には、千葉県にてU-19選手権大会に出場した。



## 陸上競技部

2月24日~3月8日まで、昨年に続き沖縄県の渡嘉敷島で合宿を行った。主にクロスカントリーを中心に、起伏のあるコースを走り込んできた。全日本大学駅伝出場を目指し、今年も頑張る。



## 硬式野球部

2月下旬に岩手・陸前高田市にて1次キャンプ、3月2日から10日間で茨城・波崎町にて2次キャンプを行った。その後、関西方面より北上しながらオープン戦15試合を行い、4月19日から開幕する春季リーグ戦の優勝を目指す。今回のテーマは「全力」。全員で全力野球をし、昨秋のリーグ戦に続き連覇を狙う。

## スポーツセンター利用状況

平成10年度にスポーツセンターが完成し、早4年半が経ちました。平成14年度を終え、トラック・人工芝生・プール・風呂(温泉)など学内者はもちろん、学外者の多くの方々に、利用していただきました。特に、梅雨時、冬季期間は岩手県内の小・中・高校生、また一般の方々の利用が多く、室内運動場として大変好評を受けています。その他には、青森森をはじめ、秋田、宮城と東北地区から足を運び、冬季の練習に励んでいます。

今年度も季節に関係なく各種競技の練習や講習会の開催など、数多くの方々に利用していただけるよう、更に充実を図っていきたくと思っています。問い合わせ先 ☎0198-23-0607スポーツセンターまで

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
学内稼数	6,781	5,457	4,410	4,376	1,555	2,921	4,779	5,606	1,725	5,709	7,168	50,486
学外稼数	668	977	642	2,650	1,472	230	1,938	885	2,100	1,893	2,412	15,876

# キャンパスニュース スキー実習

体育実技の集中講義であるスキー実習が、安比高原スキー場において、2月12日~14日、2泊3日の日程で行われました。

62名の受講生は、開講式の後、早速グレンデに向かいました。1グループ6、7名で分かれ、上級から初心者レベル毎雪とたわむれながらの実習となりました。

天候にも恵まれ、特に初心者グループのレベルアップには目をみはるものがありました。初めてスキーに挑戦し、何度転んでも、あきらめず笑顔で頑張った受講生が多かったように思えます。2日目の午後には頂上からゆっくりでも滑って降りてくれるようになったのには驚きです。

ここ数年の受講生はスノボ世代といっても過言ではないでしょう。しか



## 学事予定表

4月	在学生ガイダンス・履修登録・健康診断等 .....(3月31日~4日) 入学式 .....(5日) 前期授業開始 .....(7日) 新入生ガイダンス・履修登録・健康診断等 .....(7日~11日) 新入生学外オリエンテーション .....(16日・17日)
5月	教養演習旅行 .....(14日) 学友会総会
6月	スポーツフェスティバル .....(12日) 東北地区大学総合体育大会
7月	図書館専門職員養成講習開始 .....(1日~9月16日) 前期授業終了日 .....(18日) 前期定期試験 .....(22日~31日)
8月	夏季休暇 .....(1日~9月5日) 集中講義期間 .....(4日~6日) 集中講義期間
9月	前期再試験 .....(1日~6日) 父母懇談会 .....(2日~20日) 後期授業開始 .....(8日) 花巻まつり .....(12日~14日) 図書館専門職員養成講習終了 .....(16日)
10月	紫陵祭 .....(11日・12日) 演習発表会 .....(12日)
12月	冬季休暇 .....(8日~1月9日) 海外研修旅行 .....(7日~16日)
1月	集中講義期間 後期授業再開 .....(13日) センター入試準備 .....(16日) 大学センター入試 .....(17日・18日) 創立記念日 .....(25日) 後期授業終了日 .....(26日) 後期補講日 .....(27日・28日)
2月	後期定期試験 .....(1月29日~7日) 春季休暇 .....(9日~3月31日) スキー実習 後期再試験 .....(16日~21日)
3月	卒業判定 卒業式